

α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア

1.食品添加物名

α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア (α-Glucosyltransferase treated stevia)

2.基原・製法・本質

「ステビア抽出物」に、α-グルコシルトランスフェラーゼ等を用いてグルコースを付加して得られたものである。主甘味成分はα-グルコシルステビオシドである。

3.主な用途

甘味料

4.安全性試験成績の概要

(1)単回投与試験

急性経口LD₅₀はマウスで30,000mg/kg超である^{1),2)}。

(2)反復投与試験

SDラットを用いた混餌(1.25、2.5、5.0%)投与による13週間の反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的影響は認められていない。無毒性量は 2.5g/kg/dayと考えられる^{3),4)}。

(3)変異原性試験

細菌を用いた復帰変異試験^{5),6)}、細菌を用いたDNA修復試験⁶⁾の結果は、いずれも陰性と判断される。

(引用文献)

- 1.急性毒性試験報告書, 1980. 9. 社内データ (未公表)
- 2.急性毒性試験報告書, 1984. 9. 社内データ (未公表)
- 3.α-Glucosyl steviol glycoside toxicity to rats by repeated dietary administration for 13 weeks, January, 1988, 社内データ (未公表)
- 4.菊池 啓明: 月刊フードケミカル, 1988, 6
- 5.「変異原性試験報告書」, 1981. 1., 社内データ (未公表)
- 6.「変異原性試験報告書」, 1984. 10., 社内データ (未公表)